

2023 年度第 1 回中高一貫教育具体化検討部会

2023 年 5 月 23 日 (火)
午前 9 時 30 分から午前 11 時 30 分まで
アイリス愛知 コスモス

次 第

- 1 開会
- 2 教育委員会挨拶
- 3 委員及び事務局紹介
- 4 議題
中高一貫教育の導入（探究学習重視型）に向けた検討事項
- 5 閉会の挨拶
- 6 閉会

【配布資料】

- ・資料 1：中高一貫教育の導入（探究学習重視型）に向けた検討事項
- ・資料 2：探究学習重視型の併設中学校における入学者選考について
- ・資料 3：教職員配置に関すること

中高一貫教育具体化検討部会開催要項

第1 趣旨

2023年1月16日に策定・公表した「愛知県 中高一貫教育導入方針」の具体化について検討することを目的として、中高一貫教育具体化検討部会（以下、「部会」という）を開催する。

第2 構成

部会は、次に掲げる委員をもって構成する。

- (1) 県立高等学校の校長及び教諭
- (2) 市町村立小中学校の校長及び教諭
- (3) 市町村教育委員会関係者
- (4) 私立高等学校関係者
- (5) 県教育委員会関係者

第3 座長及び副座長

- (1) 部会には、座長及び副座長をおく。
- (2) 座長及び副座長は、委員のうちから互選する。
- (3) 座長は、部会を主宰する。
- (4) 副座長は座長を補佐し、座長に事故があるときはその職務を代理する。

第4 部会の招集

部会は、教育委員会事務局長が招集する。

第5 会議の公開

会議は、非公開で行う。

第6 庶務

部会に関する庶務は、中高一貫教育室において処理する。

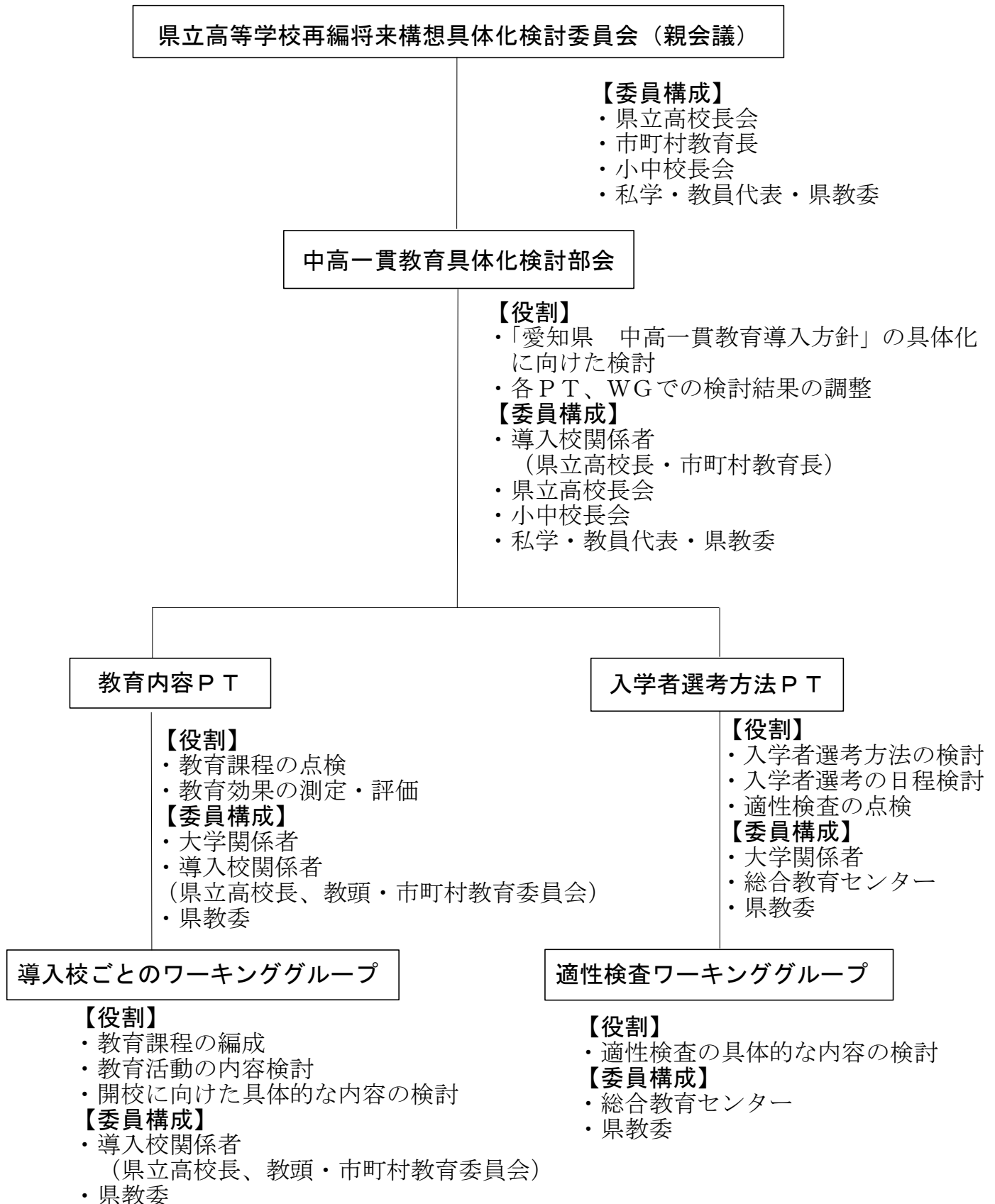
第7 雑則

この要項に定めるもののほか、部会に関し必要な事項は、中高一貫教育室長が定める。

附 則

この要項は、2023年5月23日から実施する。

2023年度の検討体制



中高一貫教育の導入（探究学習重視型）に向けた検討事項

論点 1 入学者選考に関すること・・・第1回部会(本日)～第3回部会(9月)

資料 2

(背景・基本的な考え方)

- 国の考え方は、平成9年の答申や国会審議での附帯決議において、「受験エリート校化や受験競争の低年齢化が懸念されることから、公立学校（中等教育学校・併設型中学校）での入学者選考では学力検査は行わない」としている。
- しかしながら、教育方針やカリキュラムを理解した生徒に入学してもらうため、必要最低限の選考を行う必要があることから、受験テクニックや知識量を測るのではなく、探究心や課題解決力、共感力、意欲を確認するための入学者選考を行う。
- 入学者選考においては、思考力、判断力、表現力等を総合的に測る適性検査を行う。

[検討内容]

入学者選考の実施日程、選考方法（適性検査や面接の実施方法、調査書の取扱いなど）、選考基準、出願時の提出書類、入学検定料など。

論点 2 教育内容に関すること・・・第2回部会(7月)・第3回部会(9月)

(背景・基本的な考え方)

- 中高一貫教育導入のねらいである「チェンジ・メーカーを育てる」を実現するための教育内容。
- 学校教育法施行規則において、中学校の標準授業時数は週29時間。
- 中高一貫校は、特例制度により、週29時間を超えて授業を実施することが可能。

[検討内容]

導入校の特色、教育課程（総授業時間数、各教科の時間数）、日課表（登下校時間など）など。

論点 3 部活動に関すること・・・第3回部会(9月)

(背景)

- 併設中学校は全体で6学級（明和高校は9学級）と小規模で生徒数が少ない。体育館は新設するため占用できるが、グラウンドや武道場等は高校との共用。

[検討内容]

併設中学校における部活動の在り方（地域移行・地域連携を含む）

論点 4 学校給食に関すること・・・第3回部会(9月)

(背景・基本的な考え方)

- 併設中学校では、学校給食を提供する。
- 調理場を設置しないことから、地元市町村の給食センター又は民間給食事業者からの提供とする。
- 高校においても、希望する生徒に昼食の提供を行う。

[検討内容]

併設中学校ごとの学校給食の提供方法

論点 5 教職員配置に関すること・・・第1回部会(本日)・第2回部会(7月)

(1) 併設中学校の教職員配置

資料 3

(基本的な考え方)

- 中高一貫校の教育内容の実施に必要なとなる教職員を配置する。

[検討内容]

開校初年度から学校完成時までの職種ごとの教職員の配置人数、教科別の教員数、中学校教員と高校教員の内訳

(2) 開校準備員の配置

(基本的な考え方)

- 開校の前年度（2024年度）に、校内体制、年間行事予定、各種指導計画などを作成 → 教員を配置
- 必要物品の購入、各種契約業務 → 事務職員を配置

[検討内容]

開校準備員の人数、職種、勤務場所

論点 6 学校名に関すること・・・第3回部会(9月)

- 学校名は、各導入校の意見を聴取のうえ、教育委員会において決定する。

[学校名のイメージ]

タイプ別の中高一貫校の名称 ※ 明和高校に当てはめた場合のイメージ例		全国89校の タイプ別学校数
Aタイプ	愛知県立明和中学校・高等学校	47校
Bタイプ	愛知県立明和高等学校・附属中学校	36
Cタイプ	愛知県立〇〇中学校 愛知県立明和高等学校	6

論点 1 入学者選考に関すること（探究学習重視型）

1 「愛知県 中高一貫教育導入方針」における入学者の選考方法

(1) 適性検査

- ・出題は、小学校学習指導要領の範囲内とし、思考力、判断力、表現力、課題解決力等を総合的に測る。

(2) 面接

- ・中高の6年間学び続ける意欲や志望動機、適性、コミュニケーション能力などを見る。

(3) 調査書

- ・調査書の内容や取扱いについては、小学校現場の負担も配慮しながら、今後検討する。

(4) その他

- ・明和高校の併設中学校（音楽コース）は、実技検査を実施する。
- ・抽選の導入の有無は、今後検討する。

2 入学者選考における国の考え方

21世紀を展望した我が国の教育の在り方について（要約） （中央教育審議会第二次答申（1997年6月））

- ・「ゆとり」ある学校生活を送るべき小学生が受験のための塾通いを行うなど受験競争の低年齢化を招くことのないよう適切な配慮を行うことが不可欠。
- ・いたずらに難度の高い試験問題によって選抜を行うことなく、学校の個性や特色に応じた適切な方法により入学者を定めることが望ましい。
- ・特に、地方公共団体が設置する学校にあっては、学力試験は行わないこととし、入学希望者が多く選抜が必要となった場合でも、中高一貫校の個性や特色に応じて、抽選や面接、推薦、調査書、実技検査など多様な方法を適切に組み合わせることが適当。

学校教育法施行規則の改正（1999年4月施行）

- 第一百条 中等教育学校の入学は、設置者の定めるところにより、校長が許可する。
- 2 前項の場合において、公立の中等教育学校については、学力検査を行わないものとする。
- 第一百七条 第七條及び第一百條の規定は、併設型中学校に準用する。

中高一貫教育制度に関する主な整理（要約） （中央教育審議会初等中等教育分科会（2011年7月））

ア 適性検査の定義

- ・公立の入学者選抜は、個性や特色に応じて、面接、作文、調査書・推薦書など、多様な方法を組み合わせて入学者を選抜しているが、その一環として、筆記の方式によって、生徒に求める思考力、判断力、表現力といった総合的な適性を測る「適性検査」を広く実施。
- ・これは、多くの設置者が、実施しないこととされている「学力検査」を、学校の各教科の内容に即した、受験に向けた反復訓練等により正答率を高めることが可能な知識・技能を測る検査と捉え、「適性検査」は、これとは異なる資質等を測るものと位置付けて実施。

イ 入学者選抜を行う際の留意点

- ・多くの志願者がある実態を踏まえると、学校の目標や目指すべき人材育成像、これに基づく教育内容・方法に応じて、これに見合う資質・能力を有する生徒を見極めるために入学者を選抜することは許容されても良いと考えられる。
- ・小学校教育では、①基礎的・基本的な知識・技能の習得、②知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等、③主体的に学習に取り組む態度をバランスよく育むべく教育活動が行われており、これを損なうことのないよう十分留意することが必要。
- ・設置者において、学校の目標、人材育成像、教育内容・方法の特色や、これらに基づきどのような適性を有する生徒を求めるのか、そしてその考え方がどのように選抜方法に反映されているのかを明確にし、広く周知することが最も重要。

ウ 抽選について

- ・公立学校ではより積極的に抽選を導入すべきとの指摘があるが、抽選は生徒の資質・能力や努力と関係ないところで結果が決まり、生徒に不公平感や精神的ショックを与えるおそれがある点に留意することが必要。

3 第一回親会議（2023年4月25日）における入学者選考に関する委員の意見

- 塾産業が先走り、既に受験の過熱化や低年齢化が始まっている。
子供たちが情報に振り回されないように、中高一貫教育の趣旨などについて丁寧に説明してもらいたい。（小中学校長）
- 中高一貫教育の具体化に期待をしているが、一方で、受験の過熱化を危惧している。
思考力・判断力・表現力等を総合的に測るという言葉は、耳障りは良いが、難問を出題している全国の傾向が、受験の過熱化を招いている。
例えば、抽選を導入するなど、大胆な発想で検討してもらいたい。
また、多くの小学校6年生が受験対策のために欠席しているので、そうならないように進めてもらいたい。（市町村教育委員会）
- 児童にとって、進路の選択肢が増えることは良いが、情報が錯そうしないようにしっかり説明してもらいたい。
また、調査書の作成や保護者との話し合いなど、入学者選考の事務手続きが増え、小学校教員の本来の業務に支障の出ないように進めてもらいたい。（小中学校教員）
- 高校入試の直前に欠席者が増えた中学校がある。小学校でも入学者選考直前に欠席者が増えることを懸念している。（小中学校教員）

4 入学者選考を検討する際の視点

(1) 探究学習重視型の中高一貫校に適した入学者選考であること

→ 探究学習にとって重要な資質を、面接で見ることが必要。

<資質の例>

- ・ 様々なことに興味をもって課題を見つけ出し、解決に向けてとことん突き止めようとする「探究心」
- ・ 自分が当たり前ではなく多様な考え方があることを理解し、互いのよさを生かしながら物事に取り組もうとする「共感力」「寛容性」
- ・ 困難なことに対しても諦めず、よりよい解決に向けて取り組もうとする「粘り強さ」

→ 導入校の教育方針やカリキュラムを理解し、中高6年間にわたって探究の学びを続けていこうとする意欲を、面接で見ることが必要。

(2) 小学校教育の成果を測るものであること

→ 適性検査では、受験テクニックや知識量を測るのではなく、知識・技能を活用した思考力・判断力・表現力・課題解決力を測ることが必要。
受験対策による過熱化を抑えるため、適性検査は、過度に難しい問題を避けることが必要。（例：長文記述や、素早い情報処理が必要な問題など）

(3) 教員に過大な負担をかけないものであること

→ 愛知県内の国立・私立中学校における調査書の活用状況を参考にして、小学校現場への負担が抑えられる仕組みとすることが必要。
→ 採点作業などで、多大な労力を必要としない方法とすることが必要。

全国・愛知県内の入学者選考の状況

区分	全国の公立中高一貫校	愛知県内の国立・私立中学校（詳細は参考2）
筆記検査	<ul style="list-style-type: none"> ・小学校学習指導要領の範囲内で、思考力、判断力、表現力を、総合的に測る適性検査を実施している。 ・適性検査では、教科ごと（国語・算数・理科・社会）に検査するのではなく、適性検査Ⅰ・適性検査Ⅱなど、教科に拠らない形で検査している。 ・適性検査では、会話文や説明文、図表などの資料から必要な情報を読み取り思考・判断する教科横断的な問題が多い。 しかし、多い情報量に対して、短い時間の中で素早く情報を処理することが必要な問題も見られる。 ・長文の記述問題（200字から400字程度）を出題している学校が多い。 ・英語は、ほとんどの学校で実施していない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語・社会・算数・理科の4教科による検査が多い。（一部、国語・算数） ・一部の学校で、教科ごとではなく、総合力を問う検査を実施している。
面接	<ul style="list-style-type: none"> ・個人または集団の面接を実施している。 ・グループ活動は、神奈川県（新型コロナウイルス感染拡大防止のため実施中止）、広島県（広島叡智学園のみ）、札幌市で実施している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国立は、愛知教育大学附属岡崎中学校と名古屋大学教育学部附属中学校で実施。愛知教育大学附属名古屋中学校は、未実施。 ・私立は、面接を実施していない学校が多い。
調査書	<ul style="list-style-type: none"> ・全国的に、調査書を、志願する際の必要書類としている。 ・調査書を点数化することなく、入学者を決定する際の参考としている学校が多い。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国立は、調査書を必要書類としている。 ・私立は、調査書を必要書類とする学校、直近の通知表の写しを必要書類とする学校、調査書を不要としている学校に分かれる。
抽選	<ul style="list-style-type: none"> ・抽選を行っている学校は、群馬県の太田市立太田中学校のみ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・抽選は実施していない。 ※愛知教育大学附属名古屋中学校は、2023年度から実施しないこととした。
実施時期	<ul style="list-style-type: none"> ・検査は、主に、1月第一週・第二週の土曜日・日曜日に実施している。 ・合格発表は、検査日から7～10日後に実施している。 ・入学手続きは、合格発表から数日の間に、入学確約書等を提出させることが多い。 ・一次検査・二次検査による二段階選抜は、埼玉県・千葉県・広島県・札幌市・さいたま市・千葉市で実施している。 （参考）一次検査通過者 募集人員の2.5倍程度：埼玉県、さいたま市 募集人員の2倍以内：札幌市 募集人員の2倍程度：広島県、千葉市 募集人員の4倍程度：千葉県 ・志願倍率は平均して3倍程度であるが、千葉県・東京都・神奈川県などの都市部や、国際バカロレア認定校で、5倍から10倍程度と、志願倍率の高い学校がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・検査は、1月と2月第一週の土曜日・日曜日に実施している。 ・合格発表は、検査日から数日の間に実施している。 ・入学手続きの期限は、国立が1月中。私立は、2月上・中旬としている学校が多い。

愛知県の国立・私立中学 入学者選考状況（2023年度入学生）

参考 2

学校名	募集人員	選考区分	願書受付期間		出願方法		選考期日	試験教科	面接	発 表 期 日	手 続 期 限	調査書の取扱い				
			始期	終期	郵送 持参	Web						調査書	通知表 の写し	提出 不要		
国立	愛知教育大学付属岡崎	男女 144	-	12月23日	12月28日	○		1月15日	国・算・社・理	あり	1月17日	1月17日	○			
	愛知教育大学付属名古屋	男女 64	-	12月19日	12月26日	○		1月23日	国・算	なし	1月24日	1月24日	○			
	名古屋大学教育学部附属	男女 80	-	12月2日	12月19日	○	※1	1月7日 1月8日	検査Ⅰ（総合力を問うもの）、検査Ⅱ（作文）	あり	1月16日	1月20日	○			
私立	愛知	男女 160	-	1月6日	1月13日		○	1月21日	国・算・社・理	なし	1月24日	2月10日			○	
	愛知工業大学名電	男女 105	奨学生（A・B）	1月11日	1月18日		○	1月21日	国・算・社・理（※2）	なし	1月24日	2月10日			○	
			一般	1月11日	1月18日		○	1月22日	国・算・社・理	なし	1月24日	2月10日			○	
	愛知淑徳	女 280	-	1月10日	1月20日	○	※3	1月29日	国・算・社・理	なし	2月1日	2月9日	○			
	金城学院	女 320	思考力入試	1月3日	1月9日		○	1月14日	思考力テスト・算数基礎テスト	本人	1月17日	1月19日	1月19日	○		
			四科入試	1月3日	1月9日		○	1月21日	国・算・社・理	なし	1月24日	2月2日	2月2日	○		
			英語利用入試	1月3日	1月9日		○	1月21日	国・算・英（筆記・リスニング）	本人と保護者	1月24日	2月2日	2月2日	○		
	椋山女学園	女 120	-	1月10日	1月19日	○	※4	1月29日	国・算・社・理	なし	1月31日	2月3日		○		
	東海	男 360	-	1月6日	1月13日		○※5	2月4日	国・算・社・理	なし	2月7日	2月9日	○			
	名古屋	男 240	グローバル	1月3日	1月13日		○	1月28日	国・算・社・理	あり	1月31日	2月9日		○		
			一般	1月6日	1月23日		○	1月28日	国・算・社・理	なし	1月31日	2月9日			○	
	名古屋経済大学市邨	男女 70	I期専願	12月12日	1月5日		○	1月7日	適性検査（言語・理数）	あり	1月10日	1月13日		○		
			I期一般（A）	12月12日	1月5日		○	1月7日	国・算・理+社	なし	1月10日	1月27日		○		
			I期一般（B）	12月12日	1月5日		○	1月8日	国・算	なし	1月10日	1月27日		○		
			II期一般	1月10日	1月26日		○	1月28日	国・算	なし	1月30日	2月14日		○		
	名古屋経済大学高蔵	男女 60	自己推薦	12月12日	1月5日		○	1月7日	国・算	本人・集団	1月10日	1月13日		○		
			A日程（一般）	12月12日	1月5日		○	1月7日	国・算・社・理	なし	1月10日	2月2日		○		
			B日程（一般）	12月12日	1月26日		○	1月29日	国・算・社・理	なし	1月30日	2月8日		○		
	名古屋国際	男女 105	グローバル入試	1月5日	1月20日		○※6	1月21日	国・算	あり	1月24日	2月3日		○		
			A入試	12月19日	1月6日		○	1月8日	国・算・社・理（※7）	なし	1月12日	2月9日※8			○	
			B入試	1月5日	1月20日		○	1月22日	国・算・社・理（※7）	なし	1月24日	2月9日			○	
	名古屋女子大学	女 120	推薦	12月19日	1月4日		○※9	1月8日	国・算	なし	1月11日	1月16日		○		
			一般（A）	12月19日	1月4日		○※9	1月8日	国・算・社・理	なし	1月11日	2月2日		○		
			特奨	12月19日	1月4日		○※9	1月9日	国・算・社・理	なし	1月11日	2月2日		○		
			一般（B）	1月23日	2月2日		○※9	2月4日	国・算	なし	2月6日	2月9日		○		
	南山	男 200 ※10	男子部	1月10日	1月19日		○	2月4日	国・算・社・理	なし	2月5日	2月9日			○	
		女 200 ※10	女子部	1月4日	1月14日		○	1月28日	国・算・社・理	なし	1月29日	2月9日			○	
	星城	男女 80	I期A日程	12月10日	1月5日		○	1月7日	国・算・社・理	なし	1月11日	1月31日		○		
			I期I E型	12月10日	1月5日		○	1月7日	国・算・英（聞き取りを含む）	なし	1月11日	1月31日		○		
			I期B日程	12月10日	1月12日		○	1月14日	国・算・社・理	なし	1月18日	2月10日		○		
II期			1月19日	2月10日		○	2月11日	国・算・社・理	なし	2月13日	2月16日		○			
聖霊	女 200 ※11	VAP選考	12月1日	12月7日		○※12	1月8日	記述式の総合問題	なし	1月9日	1月16日		○			
		学科試験選考	12月18日	12月26日		○※12	1月15日	国・算・社・理	なし	1月17日	2月1日			○		
大成	男女 105	特別選抜 4科I	12月12日	1月5日	○	○	1月7日	国・算・社・理	なし	1月11日	1月31日		○			
		特別選抜 英語	12月12日	1月5日	○	○	1月7日	国・算・英	なし	1月11日	1月31日		○			
		特別選抜 2科I	12月12日	1月5日	○	○	1月7日	国・算	なし	1月11日	1月31日		○			
		専願 学力	12月12日	1月5日	○	○	1月8日	算と理・作文とことば	本人	1月11日	1月31日		○			
		専願 かがやき	12月12日	1月5日	○	○	1月8日	計算とことば・自己アピール	本人	1月11日	1月31日		○			
		専願 スポーツ（柔道）	12月12日	1月5日	○	○	1月8日	計算とことば・実技試験	本人	1月11日	1月31日		○			
		一般 4科II	12月12日	1月27日	○	○	1月29日	国・算・社・理	なし	1月31日	2月10日		○			
滝	男女 252	一般 2科II	12月12日	1月27日	○	○	1月29日	国・算	本人	1月31日	2月10日		○			
		-	1月10日	1月26日		○※13	2月5日	国・算・社・理	なし	2月8日	2月9日	○				
中部大学春日丘	男女 105	第1回	1月6日	1月16日		○※14	1月22日	国・算・社・理	なし	1月24日	2月10日		○			
		第2回	1月6日	1月25日		○※14	1月29日	国・算・社・理	なし	1月31日	2月10日		○			
桜丘	男女 96	I期	1月6日	1月16日	○		1月21日	国・算・1教科選択（理・社・英会話）	本人と保護者	1月24日	2月2日		○			
		II期	1月6日	2月2日	○		2月4日	国・算・1教科選択（理・社・英会話）	本人と保護者	2月7日	2月16日		○			

※1 名古屋大学教育学部附属：入試の出願登録はWebで行い、願書提出は郵送または持参のみ受付。必要書類の提出期限は、郵送が12/23（消印有効）、持参が12/27 ※2 愛知工業大学名電：奨学生Bは算+融合（理科社会型または英語型の選択）
 ※3 愛知淑徳：入試の出願登録はWebで行い、願書提出は郵送のみ ※4 椋山女学園：入試の出願登録はWebで行い、願書提出は郵送のみ ※5 東海：必要提出書類の郵送は、1/17必着 ※6 名古屋国際：必要提出書類は郵送
 ※7 名古屋国際：インターナショナルクラスは、国・算・英必須、社・理から1教科選択 ※8 名古屋国際：インターナショナルクラスは、1/18 ※9 名古屋女子大学：必要提出書類は郵送 ※10 南山：募集人員には、南山小学校からの推薦入学者を含む
 ※11 聖霊：募集人員には、南山小学校からの推薦入学者を含む ※12 聖霊：出願書類は郵送（VAP選考は12/8必着、学科試験選考は12/27必着） ※13 滝：必要提出書類は郵送（1/26必着） ※14 中部大学春日丘：必要提出書類は郵送

論点 5

教職員配置に関すること

1 「中高一貫教育導入方針」における教職員配置の考え方

- 中学校教員と、中学校の免許を持つ高等学校教員を配置する。
- あわせて、中高交流人事を進めるとともに、中高一貫校に勤務する教員を別枠で確保する。

(参考) 併設中学校への教員配置のイメージ (2023年度 第1回親会議資料)
学校完成時 (開校3年目、6学級規模校)

区分	副校長	主要教科					技能教科				養護教諭	合計
		国語	数学	理科	社会	外国語	保体	音楽	美術	技家		
小中	1	1	1	1	1	1					1	8人
高校		1	1	1	1	1						6人
計	1	2	2	2	2	2	兼務	兼務	兼務		1	14人

【第1回親会議 (2023.4.25) における教職員配置に関する委員の発言】

- ・学校給食を実施するに当たり、栄養教諭の配置を行うのか。(高等学校長)
⇒ (事務局) 記載のない事務職員や栄養教諭の配置についても検討していく。

2 教職員配置に関する基本的な考え方

- 中高一貫校の教育内容の実施及び学校運営に必要となる教職員を配置する。
- 中学校と関連深い高校の学習内容に中学校段階から触れることで、より深い学びに取り組むこととしている一方で、大学受験に特化して授業進度を早めることは目指さず、先取りに偏らないこととしているなど、探究学習重視に見合うバランスの良い中学校教育を展開するため、**主要教科は中学校教員と高校教員をそれぞれ配置する。**
- 開校当初は、高学年の生徒が在籍しないため、中学校の内容の教科指導が中心になることから、中学校の教員を中心に配置し、**3学年完成時に向けて段階的に高校教員を増やしていく。**

(参考) 本県の中学校における学級規模別の教職員配置基準

1 学年 2 学級規模校

開校	学級数	校長	教頭・教諭	養護教諭	事務職員	計
1年目	2学級	1	7	1	1	10人
2年目	4学級	1	9	1	1	12人
3年目	6学級	1	11	1	1	14人

1 学年 3 学級規模校

開校	学級数	校長	教頭・教諭	養護教諭	事務職員	計
1年目	3学級	1	8	1	1	11人
2年目	6学級	1	11	1	1	14人
3年目	9学級	1	15	1	1	18人

- ・生徒指導担当 非常勤 週 12 時間 (7、9~13、15 学級規模校に措置)
- ・進路指導担当 非常勤 週 12 時間 (6~18、20~25、27~29、31、33、38、40 学級規模校に措置)

3 併設中学校の教職員配置のイメージ

半田、刈谷 (6 学級)

【開校1年目】 2 学級

区分	副校長	教諭											栄養教諭	養護教諭	事務職員	用務員	合計	
		主要教科					技能教科					特別活動等						小計
		国語	数学	理科	社会	外国語	保体	音楽	美術	技術	家庭							
小中	1	1	1	1	1	1							6		1			8
高校		1	1			1							3	兼		1	兼	4
計	1	2	2	1	1	2	1	兼・非	兼・非	兼・非	兼・非	担任	9		1	1		12

- 校長は中高一貫校の高等学校長が兼務する
- 技能教科 (音楽、美術、技術、家庭) の「兼・非」は、県立高校や近隣中学校の教員が兼務、又は非常勤講師による対応を想定
※ 兼務の場合は、兼務元の学校に必要となる非常勤講師時間を措置
- 特別活動等 (特別活動、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間) は、学級担任が受け持つことを想定
- 教諭の小計9人は、本県の教職員配置基準7人と比較して2名増であり、加配定数措置を想定
- 栄養教諭の「兼」は、明和高校に専任職員を配置し、第一次導入校4校を兼務することを想定
- 事務職員の高校1名は、県職員の配置を想定
- 用務員の「兼」は、既配置の高校用務員2名による対応を想定

【開校2年目】 4 学級

区分	副校長	教諭											栄養教諭	養護教諭	事務職員	用務員	合計	
		主要教科					技能教科					特別活動等						小計
		国語	数学	理科	社会	外国語	保体	音楽	美術	技術	家庭							
小中	1	1	1	1	1	1							6		1			8
高校		1	1	1	1	1							5	兼		1	兼	6
計	1	2	2	2	2	2	1	兼・非	兼・非	兼・非	兼・非	担任	11		1	1		14

【開校3年目】 6 学級

区分	副校長	教諭											栄養教諭	養護教諭	事務職員	用務員	合計	
		主要教科					技能教科					特別活動等						小計
		国語	数学	理科	社会	外国語	保体	音楽	美術	技術	家庭							
小中	1	1	1	1	1	1							6		1			8
高校		1	1	2	1	1	1						7	兼		1	兼	8
計	1	2	2	3	2	2	2	兼・非	兼・非	兼・非	兼・非	担任	13		1	1		16
時間標準授業(週)	1年	8.0	8.0	6.0	6.0	8.0	6.0	2.6	2.6	2.0	2.0	6.8	58.0	各学年 週29時間×2学級				
	2年	8.0	6.0	8.0	6.0	8.0	6.0	2.0	2.0	2.0	2.0	8.0	58.0					
	3年	6.0	8.0	8.0	8.0	8.0	6.0	2.0	2.0	1.0	1.0	8.0	58.0					
	計	22.0	22.0	22.0	20.0	24.0	18.0	6.6	6.6	5.0	5.0	22.8	—					

津島(6学級)

国際バカロレア導入校

【開校1年目】 2学級

単位:人

区分	副校長	教諭											栄養教諭	養護教諭	事務職員	用務員	合計	
		主要教科					技能教科					特別活動等						小計
		国語	数学	理科	社会	外国語	保体	音楽	美術	技術	家庭							
小中	1	1	1	1	1	1	1			1			7	1			9	
高校		1	1			1		兼	兼		兼		3	兼	1	兼	4	
計	1	2	2	1	1	2	1			1		担任	10	1	1		13	

- 他の6学級規模校(半田、刈谷)と比較して1名増は、国際バカロレアの導入に必要な加配定数措置を想定
- 外国語の高校教員1名が、国際バカロレアに関するコーディネーターの役割を担うことを想定
- 技能教科(音楽、美術、家庭)の「兼」は、国際バカロレアの認定を受けるためには、全ての教科において常勤教員を配置する必要があることから、津島高校に配置する常勤教員が中高を兼務する想定
※ 津島高校に対して、兼務に伴い必要となる非常勤講師時間を措置
- また、技術については、前述と同様の理由により、勤務場所の異なる隣接する中学校の教員が兼務にて対応することが困難なため、専任教員を配置する想定

【開校2年目】 4学級

単位:人

区分	副校長	教諭											栄養教諭	養護教諭	事務職員	用務員	合計	
		主要教科					技能教科					特別活動等						小計
		国語	数学	理科	社会	外国語	保体	音楽	美術	技術	家庭							
小中	1	1	1	1	1	1	1			1			7	1			9	
高校		1	1	1		2		兼	兼		兼		5	兼	1	兼	6	
計	1	2	2	2	1	3	1			1		担任	12	1	1		15	

【開校3年目】 6学級

単位:人

区分	副校長	教諭											栄養教諭	養護教諭	事務職員	用務員	合計	
		主要教科					技能教科					特別活動等						小計
		国語	数学	理科	社会	外国語	保体	音楽	美術	技術	家庭							
小中	1	1	1	1	1	1	1			1			7	1			9	
高校		1	1	1	1	2	1	兼	兼		兼		7	兼	1	兼	8	
計	1	2	2	2	2	3	2			1		担任	14	1	1		17	
時間標準数(週)	1年	8.0	8.0	6.0	6.0	8.0	6.0	2.6	2.6	2.0	2.0	6.8	58.0	各学年 週29時間×2学級				
	2年	8.0	6.0	8.0	6.0	8.0	6.0	2.0	2.0	2.0	2.0	8.0	58.0					
	3年	6.0	8.0	8.0	8.0	8.0	6.0	2.0	2.0	1.0	1.0	8.0	58.0					
	計	22.0	22.0	22.0	20.0	24.0	18.0	6.6	6.6	5.0	5.0	22.8	—					

明和(9学級)

音楽コース設置校

【開校1年目】 3学級

単位:人

区分	副校長	教諭											栄養教諭	養護教諭	事務職員	用務員	合計	
		主要教科					技能教科					特別活動等						小計
		国語	数学	理科	社会	外国語	保体	音楽	美術	技術	家庭							
小中	1	1	1	1	1	1	1						6	1			8	
高校		1	1			1					1		4	1	1	兼	6	
計	1	2	2	1	1	2	1	1	兼・非	兼・非	兼・非	担任	10	1	1	1	14	

- 栄養教諭の高校1名は、第一次導入校4校を兼務して食育指導等を行うとともに、民間給食事業者から給食の提供を受ける併設中学校がある場合、献立作成等を行うことを想定
- 教諭の小計10人は、本県の教職員配置基準8人と比較して2名増であり、加配定数措置を想定

【開校2年目】 6学級

単位:人

区分	副校長	教諭											栄養教諭	養護教諭	事務職員	用務員	合計	
		主要教科					技能教科					特別活動等						小計
		国語	数学	理科	社会	外国語	保体	音楽	美術	技術	家庭							
小中	1	1	1	1	1	1	1						6	1			8	
高校		1	1	1	1	2		1					7	1	1	兼	9	
計	1	2	2	2	2	3	1	1	兼・非	兼・非	兼・非	担任	13	1	1	1	17	

【開校3年目】 9学級

単位:人

区分	副校長	教諭											栄養教諭	養護教諭	事務職員	用務員	合計	
		主要教科					技能教科					特別活動等						小計
		国語	数学	理科	社会	外国語	保体	音楽	美術	技術	家庭							
小中	1	1	1	1	1	1	1						6	1			8	
高校		2	2	2	1	2	1	1					11	1	1	兼	13	
計	1	3	3	3	2	3	2	1	兼・非	兼・非	兼・非	担任	17	1	1	1	21	
時間標準数(週)	1年	12.0	12.0	9.0	9.0	12.0	9.0	3.9	3.9	3.0	3.0	10.2	87.0	各学年 週29時間×3学級				
	2年	12.0	9.0	12.0	9.0	12.0	9.0	3.0	3.0	3.0	3.0	12.0	87.0					
	3年	9.0	12.0	12.0	12.0	12.0	9.0	3.0	3.0	1.5	1.5	12.0	87.0					
	計	33.0	33.0	33.0	30.0	36.0	27.0	9.9	9.9	7.5	7.5	34.2	—					